

設立時のゼミの紹介

- 1. 地域を学ぶコース 2
- 2. 健康づくりコース 4
- 3. 地域力を考えるコース 5
- 4. 社会保障を学ぶコース 7

2018年4月1日

1. 地域を学ぶコース（案）

みんなで創るうらわ あなたも地域デビュー

【ねらい】

創年とは、これまでの生き方を見直し地域の為に自らの力を発揮し、創造的に生きる大人（中高年）を呼びます。今、第二の人生を迎え、改めてわがまち「うらわ」を見つめ直し、何か新しい“生きがい”や“やりがい”を見つめたいと考えている皆さんのための講座です。“まちづくり”に関心と理解を深め、“まちづくり”の基本やうらわの魅力発見などを学習します。この学習を通じて、新しい仲間と交流しながら“生きがい”や“やりがい”を見出して創年になりませんか！！

☆開催期間 月 日（ ）～月 日（ ）（全 回）

☆開催時間 10:00～12:00 又は13:30～15:30

- 2時間のうち、1時間は講話等、1時間は講話等の感想発表や意見交換し参加者の共通認識を深め交流を図る

～皆さんの総意でプログラムを決めます～

日 程	会 場	内 容（案）	講師候補者案
/		さいたま市の都市計画マスタープランを知る ～将来都市構想～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	都市計画課職員
/		高齢者の生きがい就労支援 ～シルバー人材センター シルバーバンク～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	シルバーバンク 事務所
/		地域包括ケアシステムの具体化の現状 ～さいたま市高齢者生活支援体制整備事業～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	いきいき長寿推 進課
/		高齢者が自立した生活を継続できる地域づくり ～地域福祉の現状と課題～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	福祉総務課
/		次代を担う「子ども」の地域支援 ～ファミリーサポートセンター・緊急サポートセ ンターの取組～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	センターの職員
/		コミュニティビジネスの活用 ～社会の困りごとを解決しながら地域を元気にす る事例を学ぶ～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	市民協働推進課
/		歴史・文化資産を生かした「まちづくり」 ○参加者同士の交流会（意見交換）	観光国際課
/		コミュニティと自治会の役割を知る ○参加者同士の交流会（意見交換）	*コミュニティ 推進課
/		災害・防災と男女共同参画の薦め ～災害時こそ互いを思いやり地域防災力の充実を	埼玉県男女共同 参画センター職

		図る～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	員
/		誰もが利用できる「わたしたちの居場所」づくり ～ふれあい・いきいきサロンの取組～ ～元気アップサロンの取組～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	* 埼玉県社会福祉協議会 * 元気アップネットワーク
/		地域の循環型社会形成づくり実現に向けて ～リユース、リデュース、リサイクルの具体的な取組～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	資源循環政策課
/		さいたまの魅力発見（その1） ～さいたま市の名物・特産物や新しい観光の取組を知る～ ○参加者同士の交流会（意見交換）	* 浦和ガイド会 * 観光国際課
/		さいたまの魅力発見・見学会（その2） ～名物・特産物や観光スポットなどを見学してさいたま市の資源（お宝）を探す～	* 浦和ガイド会 * 観光国際課
/		グループ別課題学習“ワークショップ”（その1） ～さいたまの課題発見とその解決プラン～ ※さいたまのまちを再度見つめ直して地域の資源（お宝）を見つけ出しどのように光をあてるのか	ゼミスタッフ
/		グループ別課題学習“ワークショップ”（その2） ～さいたまの課題発見とその解決プラン～ ※さいたまのまちを再度見つめ直して地域の資源（お宝）を見つけ出しどのように光をあてるのか	ゼミスタッフ
/			

2. 健康づくりコース

【ねらい】

健康に関するあらゆることをテーマに、活動することを目的としています。

【内容案】例としてあげると...

次のようなことで、健康に関して日頃から関心を持っていらっしゃる皆様に集まっていただき、様々なアイデアや実現できたらいいな... と思うことを提案していただきます。

そして地域の多くの皆様に、楽しく参加していただける企画を作成していきたいと思っています。

- *各種運動の講座開催
- *講師依頼
- *栄養について
- *睡眠について
- *休養について（メンタルヘルス等）
- *指導員養成

3. 地域の力を考えるコース

【ねらい】

私たちは「自立（自律）する個人」として暮らしたいと思っていますが、一方幸せに暮らし続けるためには、地域に依存しつつ生きていることも事実でしょう。

地域が住みやすいところであればそれに越したことはありません。地域の主人公は“地域住民”ですから、市民として住みやすい地域を創造することは「個人」の大切な仕事でもあります。

では住みやすい地域とは、どのような条件が整っている地域なのでしょう。その条件を「地域の力（お宝）」と捉え、私たちが地域で幸せに生きていくために必要な「力」とは何かを考える講座です。人・仕組み・自然・理念（考え方）・歴史・文化遺産・祭りなどを、具体的に目に見えるものとして取り出せることが出来れば成功です。

参加する皆様が「考え」を出し合い、個人の「考え」を皆様の「考え」と出合わせ、「自分の考え」が補強できれば、この講座は成功です。

「人物」であれば、その人をお呼びしてお話を伺い、「仕組み」であればその主催者のお話をお聴きします。そのように「話しあい」の時間と「お話を聴く時間（授業）」とを織り交ぜて講座を進めます。

【講座の作り方】一ワークショップ方式でカリキュラムを作ります

講座の中身はあらかじめ準備していません。

カリキュラムは、今日ここに参加した方々が「地域の力について考える」講座を作っていくこととなります。作り方はワークショップ方式が良いのではないかと思います。考えを書いたポストイット（付箋）を用紙に張り付けながら全員が意見を出し合いやすく、参加した人の意見が記録として残り、まとめやすく、次に繋がりがやすいと思います。

【ワークショップにはルールがあります】（愛知県高浜市のルールを参考にしました）

- 1、挨拶をする
- 2、会場づくりやかたづけをみんなでやる
- 3、名前を言ってから発言する
- 4、出席者は1回以上発言する
- 5、「正しい答え」はありません
- 6、人の話をよく聴く
- 7、責任ある発言をする
- 8、個人攻撃をしない
- 9、商売、宗教の話はしない
- 10、前回の繰り返しはしない
- 11、マナーをわきまえ、楽しい会議にする

【すべてを講座の参加者が決めます】

—お休みをした方は「決まったことに従うこととなります」

ワークショップにより「専科『地域福祉』」のすべてを決めます。

決めることが出来ないのは、講師のお話の中身だけです。

このグループが最高決定機関になります。この場には先生も観客もいません。皆が平等の立場に立つ主体的な参加者です。

毎回終わりに次回の講座、場所、開始時間と共に、名簿の管理や連絡係など講座の事務係を決めましょう。

【大事なこと】講座を作る上で大切な考え方は「建学の精神」の以下の部分です。

「人は他者との関係の中で生きており、すべての人の安全・安心は私たちの喜びです。私たちが創る“みんなの学校”は、誰も排除せず、誰でも受容し、誰もが尊厳を保障される場所です。ここでは、誰でも学ぶことも、教え合うこともでき、それゆえに地域のみんなが共に学び合う中で、きずなも生まれていきます。

「みんなの学校」は、楽しく、優しく、住んでよかったと思える地域づくりを進めます」

4. 社会保障を学ぶコース

【ねらい】

地域で安心して暮らし続けるために、社会保障の仕組みを学びます。

【話し合い素材提供メモ】

<ul style="list-style-type: none">○社会福祉一般<ul style="list-style-type: none">福祉事務所社会福祉法人共同募金社会福祉協議会民生委員社会福祉士・介護福祉士精神保健福祉士 ○高齢者の保健福祉<ul style="list-style-type: none">介護保険高齢者の福祉認知症虐待の防止高齢者の医療 ○障害者の保健福祉<ul style="list-style-type: none">給付自立支援医療補装具身体障害者の福祉知的障害者の福祉精神障害者の保健福祉発達障害者の支援 ○児童の福祉	<ul style="list-style-type: none">○母子・寡婦の福祉 ○生活保護 ○災害救助 ○特殊疾病対策 ○社会保険制度<ul style="list-style-type: none">医療保険健康保険国民健康保険共済組合船員保険年金厚生年金保険国民年金雇用保険労働者災害補償保険 ○社会福祉関係税制<ul style="list-style-type: none">所得税、住民税の軽減相続税等の減免
--	--